

長引くコロナ禍、でもみんなで活動を!

花ノ木

第 113 号

令和 4 年 7 月 24 日

花ノ木医療
福祉センター

電話 0771-23-0701

FAX 0771-22-8348

H.P <https://kyoto-hananoki.jp/>

第一病棟

第1病棟では、11のグループに分かれて集団活動を実施しています。

園芸のグループでは、季節の野菜や花を育て、野菜は収穫をしています。収穫した野菜は給食で調理して頂き、利用者さんに味わってもらっています。

最近では、収穫した玉ねぎを使ったスープを食事の時に出示てもらい、



園芸グループ以外の利用者さんにも喜んで食べてもらいました。

これから夏野菜の収穫を楽しみにしています。ゲームのグループでは、多目的室へ行きボーリングなどを行っています。利用者さんは一生懸命ボールに手を伸ばしボールを

押して転がし、ピンを倒して楽しんでいます。活動の終わりには、コーヒーマスター・紅茶などを飲み、活動の締めとしていますが、利用者さんの中には、それを一番の楽しみにしている方もいます。

これからも利用者さんが楽しめる活動の提供を心掛けて行きます。

(第1病棟 生活支援員 豊田 剛)

第二病棟

第2病棟では、今年度も2、4名ずつの少人数で集団活動を行っています。

活動内容はグループによって様々ですが、スノーズレンや手足浴、ゲーム、園芸活動などを中心に行なっています。気候の良い時期には散歩など外へ出る機会が増えます。外へ出ると、皆さん自然と顔が上がり、穏やかな表情を見せておられます。病棟から出ることが難しい方も、ベランダでしゃぼん玉を飛ばし、外の空気を感ずる機会を設けています。外出活動でも、公園などで散策もできるようなりました。

また、昨年度、指の動きがあれば使うことができる『指絵の具』と『指筆』を購入し、様々な製作に使用しています。



指先に絵の具を付ける不思議な感触に驚かれる方がほとんどですが、慣れると思いきいに指先を動かしておられます。手が絵の具まみれになっても皆さん全く気にされず…とびきりの笑顔を見せ、画用紙いっぱい絵の具を広げる方もおられます。今年度はこれらの物品を使い様々な季節の物を作っていけたらなと思っています。

まだまだ制限の多い中での活動となっていますが、入所者の皆様が少しでも季節や外の風を感じることが出来る日中活動が行えれば良いなと思っています。

(第2病棟 生活支援員 竹村真紀)

第三病棟

新型コロナウイルスから身を守る為の自粛や活動の制限が続く、なかなか思うように病棟の外に出られない日々が続いていました。感染予防の徹底、ワクチン接種を経て、よう

やく活動が再開しつつあります。

第3病棟では、今年度から新たにビデオシアター部が誕生しました! 記念すべき第1回は、紅白歌合戦鑑賞会。皆さんどんな反応をされるかな…と、職員もドキドキ。部屋の明かりを落として、大きなスクリーンにパッと映像が映し出され、音楽が聞こえ始めると同時に鳴り始めたのはタンバリンの音。叩いているのは職員…ではなく、Kさん! Aーティストの入退場に合わせて、自分から元気よくタンバリンを叩いておられるのではないですか! 他の利用者さんも、アイドルが登場すると大きな声で「お! お!」と指をさして注目したり、普段見られない満面の笑顔が見られたりと、終始盛り上がり大成功でした!



利用者の皆さんの楽しそうな姿に、思わず職員もにつこり。次は何を観ましょうか? 大画面で太鼓の達人が出来たら楽しいですね、と皆で夢を膨らませながら病棟へ戻りました。

これからも小集団でこそ出来る楽しい体験を、たくさん企画していきたいと思っています。

(第3病棟 生活支援員 飯田真菜)

第五病棟

第5病棟の集団活動は、2〜3人ずつ、14の小グループに分かれています。その中に「にじいろ」という未就学児の保育グループがあり、水曜日と日曜日の午後から活動しています。水曜日はハビリ職員と相談しながら一緒に活動しています。あいさつの歌から始まり、からだ遊びでタッチングやストレッチ、絵の具遊びで雨だれや紫陽花作り、感触遊び、七夕に向けての紙遊びなど毎月保育活動が組まれています。各児の「しゅっせきノート」にシールを貼り、絵本を見て、おわりのうたを歌って終わります。居室やプレイルーム（詰所前）に集まると、歌声や笑い声に引き寄せられて他の利用者さんと一緒に参加し、とても楽しい時間になっています。

その他のグループ活動では、感触遊びで足型をとったものをこいのぼりの装飾にするなど、病棟内で季節が感じられる工夫もしています。



外出活動も再開し、亀岡市内の水鳥公園・サンガスタジアムへのドライブ、先日はガレリア亀岡のバラ園で、きれいなバラのアーチをくぐりました。

今年度の行事は、七夕・音楽の日・クリスマス会・新年会・節分を予定しています。感染対策をしながら、今できる集団活動・外出活動・行事を工夫し、楽しんでいます。

（第5病棟 生活支援員 棟影昌子）

はなのき通所

通所係では活動の1つとして主に金曜日に制作活動を行っています。

4月は季節の制作として紙漉きサークルで作った和紙を使った鯉のぼり制作を行い、通所玄関前に飾りました。5月からは新たに段ボールアート「西洋のお城作り」に取り組みました。段ボールの表面を利用者の皆さんと一緒にめくり、真ん中のギザギザした柔らかいところだけにしていきます。その段ボールの端に長い棒を使ってボンドを塗ってもらいます。それを筒状にくっつけて押さえてもらい、柱の完成です。

引っ張ったり、握ったり、押さえたり、利用者さんが得意とすることや1人では難しいけれど職員と一緒にならでることなど、それぞれが役割をもって完成させていきます。活動の積み重ねによってお城の形がどんどん見えてきて、皆で一緒に作っているという実感もわいてくると思います。



今回の「西洋のお城作り」は通所係の夏祭りの1つとして作品展で展示する予定をしています。完成を楽しみにしてください。

（通所係 生活支援員 藤本愛香）

児童発達支援センター

児童発達支援センターでは、令和4年度から、放課後等デイサービス「ココはなのき」の開所日が、週4日から週5日に増えました。児童発達支援事業「おひさま」とともに、毎日、朝から夕方まで子どもたちの元気な声が聞こえています。

おひさまでは、4月から初めて療育に参加する小さな子どもたちの泣き声が響いていましたが、6月になり、どのお子さんもニコニコ登園してくれるようになりました。2歳〜年長まで、

サーキットや大きなブロック積み、リズム遊び、中庭でのシャボン玉など、年齢に合わせた活動を通して身体を使って楽しく遊ぶ経験をたくさん積み重ね、伝える力や周りを見る力を育てています。



ココはなのきでは、プリント学習などの他に、スイングやラダー、マットなど、身体を動かす取り組みを取り入れています。小学生として、しっかりと身体を動かしてエネルギーを発散しながら身体づくりに取り組み、身体と心を自分でコントロールする力を育てていくことを大切にしています。

コロナ禍ではありますが、保護者向けの学習会や交流会などをクラスごと、曜日ごとなど小規模で企画し、保護者の方と共に子どもたちの成長を共有しながら取り組んでいます。

（こども療育係 心理判定員 高橋良子）

***これまでの経歴について教えてください**

出身は京都市で、大学の6年間は高知県に住んでいました。2009年に卒業し医師になった後、姫路・高槻で2年ずつ研修し、京都府立医科大学小児科に入局して4年間臨床をした後、大学院で4年間研究をしていました。そして卒業年の2021年1月に花ノ木へ赴任してきました。

専門分野は新生児と小児神経です。研究では小児希少難病の神経症状について研究をしてきました。臨床ではNICUで新生児集中治療を中心に行っていました。

***希少難病の研究とは具体的にどのようなものですか**

シユバツハマン・ダイアモンド症候群(※)という、大変稀な病気の神経症状の研究をしていました。

***NICUでの何か印象に残るエピソードなどあれば教えてください**

3年近く携わっていました。印象に残っていることとして、NICUでは、元気で生まれてくる子、生まれる過程で障害が生じる子、生まれる前から障害があることが分かっている子など、それぞれいろいろ沢山のドラマがありました。ここ(花ノ木)でも当時から知っているお子さんもおられ、それぞれのここまでのドラマとかを想像してしまいます。

***小児科医になろうとしたきっかけは何ですか**

医学生の際にグループですべての科を回ることがあったのですが、そこで小児科が楽しかったという印象が強かったか

らですかね、特別何か出来事があったわけではないんです(笑)

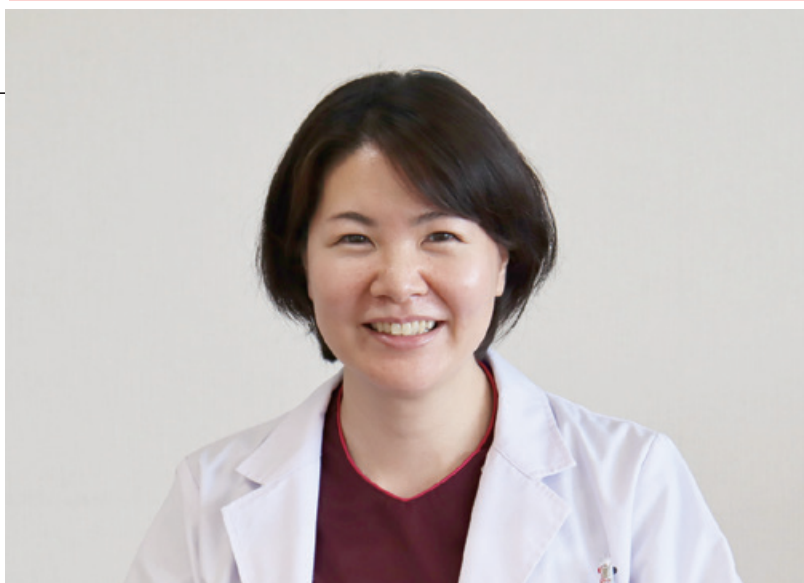
***花ノ木での仕事内容、今後取り組まれないことなど教えてください**

現在は外来中心に業務に携わっています。外来患者さんも全員が初診で2回目

シリーズ「この人にきく」

医師 高井 あかり さん

今回は、育休を終え5月から勤務再開された高井 あかり 先生にお話を伺いました。



す。

大きな不安の中で子育てをされているお母様方に、「花ノ木は子育ての味方だ」と安心して頂けるように、日々診療に務めたいと思います。

***ご家族について教えてください**

夫と3歳、1歳の男の子の4人家族です。

上の子は最近「戦おう」って言うので、サメが好きだったり、男の子なので、やっぱりそういうものが好きみたいです。二人とも「戦おう」って言うてきたらどうしようと思ってます(笑)

***コロナ禍での出産エピソードなどあります**

特になのですが、家族の面会はやはり制限されていたので、お兄ちゃんは少し寂しかったようで、今も少し赤ちゃん帰りしています。

***趣味や息抜きの方法などありましたら教えてください**

ベランダでバラを育てています。今は6種類ぐらい育てていて、毎年咲くと嬉しい気分になります。でもベランダがだんだん狭くなって、洗濯物とか布団とかが干しにくくなっています。

***花ノ木の印象と何かメッセージがありましたらお願いします**

皆さん温かくアットホームで、入所者の方々の家のようなイメージです。個人的にも育児による勤務時間短縮など、配慮して頂けるので働きやすいです。

あとはぜひ「ガーデニング部」を作って欲しいです(笑)

○インタビューを終えて

終始、和やかな雰囲気できさくに答えてくださり、ありがとうございました。外来のお子様のお母様方の気持ちを共感される素敵な先生のお人柄がよく伝わりました。ガーデニング部にご興味ある方はぜひ高井先生へお声掛けください！

(編集委員：須藤耕仁)

渡邊絵里

※血液障害、脾臓機能障害、および骨障害など様々な症状を呈する遺伝性の疾患。

○社会福祉法人花ノ木 令和3年度会計決算が6月8日開催の理事会、6月24日開催の評議員会において認定されましたので、定款第32条の規定により公告します。現任の役員（理事・監事）は以下のとおりです。

◇理 事

山内 一 寺田 直人 向井 純一

中村 正孝 矢田 勲 山内 勇

◇監 事

松本 行雄

和田 健

◇会計監査人

監査法人グラヴィタス

代表社員 公認会計士 木田 稔

令和3年度 資金収支計算書

(自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日

(単位：円)

勘 定 科 目		予 算(A)	決 算(B)	差異(A)－(B)	備考
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	909,884,000	906,350,212	3,533,788
		医 療 事 業 収 入	1,360,280,000	1,405,962,928	△45,682,928
		喀痰吸引等研修事業収入	550,000	468,000	82,000
		経 常 経 費 寄 附 金 収 入	10,000	0	10,000
		受 取 利 息 配 当 金 収 入	6,000,000	6,780,619	△780,619
		そ の 他 の 収 入	2,191,000	2,759,964	△568,964
		事業活動収入計(1)	2,278,915,000	2,322,321,723	△43,406,723
	支出	人 件 費 支 出	1,746,431,000	1,683,854,385	62,576,615
		事 業 費 支 出	224,716,000	221,035,213	3,680,787
		事 務 費 支 出	153,918,000	140,480,189	13,437,811
		支 払 利 息 支 出	910,000	909,269	731
		事業活動支出計(2)	2,125,975,000	2,046,279,056	79,695,944
	事業活動資金収支差額(3)=(1)－(2)		152,940,000	276,042,667	△123,102,667
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	2,740,000	2,540,000	200,000
		施設整備等寄附金収入	10,000	770,000	△760,000
		固 定 資 産 売 却 収 入	0	90,000	△90,000
		施設整備等収入計(4)	2,750,000	3,400,000	△650,000
	支出	設備資金借入金元金償還支出	17,192,000	17,192,000	0
		固 定 資 産 取 得 支 出	58,000,000	48,405,033	9,594,967
		ファイナンスリース債務の返済支出	3,488,000	2,885,271	602,729
		施設整備等支出計(5)	78,680,000	68,482,304	10,197,696
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)－(5)		△75,930,000	△65,082,304	△10,847,696
その他の活動による収支	収入	積 立 資 産 取 崩 収 入	50,427,000	0	50,427,000
		その他の活動収入計(7)	50,427,000	0	50,427,000
	支出	積 立 資 産 支 出	122,437,000	101,701,486	20,735,514
		その他の活動支出計(8)	122,437,000	101,701,486	20,735,514
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)－(8)		△72,010,000	△101,701,486	29,691,486
予備費支出(10)		5,000,000	—	5,000,000	
		0			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)－(10)		0	109,258,877	△109,258,877	
前期末支払資金残高(12)		0	431,304,699	△431,304,699	
当期末支払資金残高(11) + (12)		0	540,563,576	△540,563,576	

令和3年度 事業活動計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	備考
サービス活動増減の部	収益	障害福祉サービス等事業収益	906,350,212	877,649,298	28,700,914
		医療事業収益	1,405,962,928	1,356,252,132	49,710,796
		喀痰吸引等研修事業収益	468,000	254,000	214,000
		経常経費寄附金収益		7,000	△7,000
		その他の収益	2,446,564	2,068,399	378,165
		サービス活動収益計(1)	2,315,227,704	2,236,230,829	78,996,875
	費用	人件費	1,679,846,841	1,673,928,280	5,918,561
		事業費	221,978,861	219,741,969	2,236,892
		事務費	140,480,189	154,596,427	△14,116,238
		減価償却費	130,640,002	128,274,737	2,365,265
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△31,649,157	△28,708,627	△2,940,530
		サービス活動費用計(2)	2,141,296,736	2,147,832,786	△6,536,050
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		173,930,968	88,398,043	85,532,925
サービス活動外増減の部	収益	借入金利息補助金収益		425,970	△425,970
		受取利息配当金収益	6,780,619	6,993,918	△213,299
		その他のサービス活動外収益	313,400	383,050	△69,650
		サービス活動外収益計(4)	7,094,019	7,802,938	△708,919
	費用	支払利息	909,269	999,196	△89,927
		サービス活動外費用計(5)	909,269	999,196	△89,927
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)		6,184,750	6,803,742	△618,992
経常増減差額(7)=(3)+(6)		180,115,718	95,201,785	84,913,933	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	2,540,000	23,340,920	△20,800,920
		施設整備等寄附金収益	770,000	1,240,000	△470,000
		固定資産売却益	90,000		90,000
		特別収益計(8)	3,400,000	24,580,920	△21,180,920
	費用	固定資産売却損・処分損	1	620,128	△620,127
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除)		△694,667	694,667
		国庫補助金等特別積立金積立額	2,540,000	23,840,920	△21,300,920
		特別費用計(9)	2,540,001	23,766,381	△21,226,380
	特別増減差額(10)=(8)-(9)		859,999	814,539	45,460
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		180,975,717	96,016,324	84,959,393
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		1,447,014,641	1,545,980,048	△98,965,407
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		1,627,990,358	1,641,996,372	△14,006,014
	基本金取崩額(14)				
	その他の積立金取崩額(15)				
	その他の積立金積立額(16)		101,701,486	194,981,731	△93,280,245
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		1,526,288,872	1,447,014,641	79,274,231

貸借対照表

令和4年3月31日 現在

(単位：円)

◆資産の部		ソフトウェア		◆純資産の部	
流動資産	643,430,750	退職給付引当資産	16,041,300	基本金	462,820,387
現金預金	247,819,546	その他の積立資産	868,656	基本金	462,820,387
事業未収金	338,362,089	資産の部合計	2,037,112,939	国庫補助金等特別積立金	415,343,934
未収補助金	50,141,810	◆負債の部	4,827,488,733	国庫補助金等特別積立金	415,343,934
医薬品	3,951,193	流動負債	204,243,505	その他の積立金	2,037,112,939
立替金	868,216	事業未払金	46,300,955	その他の積立金	2,037,112,939
前払費用	2,287,896	1年以内返済予定設備資金借入金	17,192,000	次期繰越活動増減差額	1,526,288,872
固定資産	4,184,057,983	1年以内返済予定リース債務	2,274,696	次期繰越活動増減差額	1,526,288,872
基本財産	1,993,361,482	未払費用	44,120,804	(うち当期活動増減差額)	180,975,717
土地	481,499,760	預り金	103,300	純資産の部合計	4,441,566,132
建物	3,701,028,743	職員預り金	6,976,172	負債及び純資産の部合計	4,827,488,733
減価償却累計額	△ 2,189,167,021	仮受金	550		
その他の固定資産	2,190,696,501	賞与引当金	85,860,828		
構築物	32,694,190	未払消費税	1,414,200		
車輛運搬具	24,286,232	固定負債	181,679,096		
器具及び備品	371,913,655	設備資金借入金	179,864,000		
建設仮勘定	4,070,000	リース債務	946,440		
減価償却累計額	△ 317,204,395	退職給付引当金	868,656		
有形リース資産	20,913,924	負債の部合計	385,922,601		

掲示板

ご家族の想いに寄り添うこと

今年4月に病棟内で発生した新型コロナウイルス感染症がクラスターとなり、収束までに3週間を要しました。感染拡大のリスクを考え、面会を全面的に再度中止とさせていただきます。

しかし、この連絡を皆さんにお伝えするのが遅くなってしまう「もっと早く教えてほしかった」「家族の気持ちを考えてほしい」「丁寧な説明がない」等多くのご指摘をいただきました。ホームページには感染発生を公表したものの、お電話やお葉書で感染状況や面会中止について丁寧にお伝えできず、本来に申し訳ありませんでした。2年以上に及ぶ感染対策の中で常に不安に思われているご家族の気持ちに寄り添う事こそが安心していただけることであったと改めて教えていただきました。

他方この間、ご指摘いただきながらも職員に対する励ましやねぎらいのお言葉も多くいただき、ありがたい気持ちでいっぱいでした。職員を代表いたしまして深く感謝いたします。ありがとうございます。

まだまだこれからも感染が拡大する危険はあり、センター全体で「利用者様の命を守る行動」をスローガンに、皆様に安心していただけるよう引き続き対策を講じて参ります。

ご家族の皆様におかれましても、今後ともご理解ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

(看護生活支援部長 下西初美)

花ノ木の動き

(令和四年一月一日〜令和四年六月三十日)

1/4	仕事始めの式	6	所内研修「防災」
2/10	所内研修「メンタルヘルス」	17	所内研修「後期医療安全」
2/16	所内研修「出張報告会」	17	医療管理棟・通園棟・児童発達支援センター 防災訓練
3/16	理事会	29	評議員会
3/29	退職者辞令交付式	31	辞令交付式
4/1	新規採用職員オリエンテーション (4/1&4)	11	藍野大学リハビリ実習 (〜6/3)
4/13	所内研修「理事長講話」	11	慰霊祭
5/8	新規採用職員研修「防災対策・リフト車操作」	11	所内研修「令和3年度事例研究大会」
5/13	新規採用職員研修「系統理解Ⅰ」	13	新規採用職員研修「系統理解Ⅱ」
5/18	医療管理棟・通園棟・児童発達支援センター 防災訓練(車椅子操作)	18	医療管理棟・通園棟・児童発達支援センター 防災訓練
6/2	新規採用職員研修「系統理解Ⅱ」	20	監事監査
6/3	監事監査	3	理事会
8/8	所内研修「接遇マナー」	15	医療管理棟・通園棟・児童発達支援センター 防災訓練(消火器操作)
15/15	医療管理棟・通園棟・児童発達支援センター 防災訓練	17	評議員会
24/24	評議員会		

ありがとうございます
ご協力しました

寄付・寄贈 (敬称略)

◎寄附

一般社団法人生命保険協会京都府協会

◎寄贈

亀岡市社会福祉協議会

(手指消毒液、洗濯洗剤、食器洗剤、タオル等)

編集後記

今から100年程前、テニスのウインブルドン大会で決勝まで勝ち進んだ「清水善造」と言う日本人選手がいました。今回、その決勝戦でのエピソードを紹介しました。

彼はアメリカの選手相手に互角の戦いを展開します。ゲームも終盤に差し掛かり激しいラリーが続く中、相手選手は足がもつれたため転倒。清水はコートに空いているスペースにボールを打ち込むだけで簡単にポイントを取る事ができたのですが、彼は相手が起き上がり体勢を立て直して返球できるよう、緩いボールを打ち返しました。その事はフェアプレーとして有名になり、後々まで語り継がれる様になりました。結局、その試合には負けましたが、100年も昔、世界と互角に戦える日本人選手がいたなんて、本当に凄いです。では彼の何が凄かったのか？彼には幼い頃、片道10kmを徒歩での通学や、釜を使った草刈り(家の手伝い)のおかげで鍛えられた強靱な足腰とスナップ、そしてスタミナがあったと言われています。

特にテニスでは足腰、首の強さは重要で、彼はこの「基礎」となる部分がしっかりしていたのでしょう。

私は日常の中で迷うことや、分からなくなる事が未だにあります。そんな時は今一度基礎や基本に返って、でもその前に、これって何が基本やっつけっつてならない様に日々を過ごしていきたいです。

(編集委員 松島幾馬)